

# 特許協力条約

PCT

特許性に関する国際予備報告（特許協力条約第二章）

（法第12条、法施行規則第56条）

[PCT36条及びPCT規則70]

出願人又は代理人 の書類記号 16-97	今後の手続きについては、様式PCT/IPEA/416を参照すること。	
国際出願番号 PCT/JP2004/002737	国際出願日 (日.月.年) 04.03.2004	優先日 (日.月.年)
国際特許分類 (IPC) Int.Cl. F16D13/62(2006.01)		
出願人（氏名又は名称） 株式会社エフ・シー・シー		

1. この報告書は、PCT35条に基づきこの国際予備審査機関で作成された国際予備審査報告である。  
法施行規則第57条（PCT36条）の規定に従い送付する。

2. この国際予備審査報告は、この表紙を含めて全部で 4 ページからなる。

3. この報告には次の附属物件も添付されている。

a.  附属書類は全部で \_\_\_\_\_ ページである。

補正されて、この報告の基礎とされた及び／又はこの国際予備審査機関が認めた訂正を含む明細書、請求の範囲及び／又は図面の用紙（PCT規則70.16及び実施細則第607号参照）

第I欄4. 及び補充欄に示したように、出願時における国際出願の開示の範囲を超えた補正を含むものとこの国際予備審査機関が認定した差替え用紙

b.  電子媒体は全部で \_\_\_\_\_ (電子媒体の種類、数を示す)。  
配列表に関する補充欄に示すように、電子形式による配列表又は配列表に関連するテーブルを含む。  
(実施細則第802号参照)

4. この国際予備審査報告は、次の内容を含む。

- 第I欄 国際予備審査報告の基礎
- 第II欄 優先権
- 第III欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての国際予備審査報告の不作成
- 第IV欄 発明の単一性の欠如
- 第V欄 PCT35条(2)に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付けるための文献及び説明
- 第VI欄 ある種の引用文献
- 第VII欄 国際出願の不備
- 第VIII欄 国際出願に対する意見

国際予備審査の請求書を受理した日 13.05.2005	国際予備審査報告を作成した日 12.05.2006	
名称及びあて先 日本国特許庁 (IPEA/JP) 郵便番号 100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号	特許庁審査官 (権限のある職員) 久保 竜一	3J 8814

## 第I欄 報告の基礎

1. 言語に関し、この予備審査報告は以下のものを基礎とした。

- 出願時の言語による国際出願
- 出願時の言語から次の目的のための言語である \_\_\_\_\_ 語に翻訳された、この国際出願の翻訳文
- 国際調査 (PCT規則12.3(a)及び23.1(b))
  - 国際公開 (PCT規則12.4(a))
  - 国際予備審査 (PCT規則55.2(a)又は55.3(a))

2. この報告は下記の出願書類を基礎とした。（法第6条（PCT14条）の規定に基づく命令に応答するために提出された差替え用紙は、この報告において「出願時」とし、この報告に添付していない。）

- 出願時の国際出願書類

- 明細書

第 _____	ページ、出願時に提出されたもの
第 _____	ページ*、_____ 付けて国際予備審査機関が受理したもの
第 _____	ページ*、_____ 付けて国際予備審査機関が受理したもの

- 請求の範囲

第 _____	項、出願時に提出されたもの
第 _____	項*、PCT19条の規定に基づき補正されたもの
第 _____	ページ*、_____ 付けて国際予備審査機関が受理したもの
第 _____	ページ*、_____ 付けて国際予備審査機関が受理したもの

- 図面

第 _____	ページ／図、出願時に提出されたもの
第 _____	ページ／図*、_____ 付けて国際予備審査機関が受理したもの
第 _____	ページ／図*、_____ 付けて国際予備審査機関が受理したもの

- 配列表又は関連するテーブル

配列表に関する補充欄を参照すること。

3.  補正により、下記の書類が削除された。

<input type="checkbox"/> 明細書	第 _____	ページ
<input type="checkbox"/> 請求の範囲	第 _____	項
<input type="checkbox"/> 図面	第 _____	ページ／図
<input type="checkbox"/> 配列表（具体的に記載すること）	_____	
<input type="checkbox"/> 配列表に関するテーブル（具体的に記載すること）	_____	

4.  この報告は、補充欄に示したように、この報告に添付されかつ以下に示した補正が出願時における開示の範囲を超えてされたものと認められるので、その補正がされなかったものとして作成した。（PCT規則70.2(c)）

<input type="checkbox"/> 明細書	第 _____	ページ
<input type="checkbox"/> 請求の範囲	第 _____	項
<input type="checkbox"/> 図面	第 _____	ページ／図
<input type="checkbox"/> 配列表（具体的に記載すること）	_____	
<input type="checkbox"/> 配列表に関するテーブル（具体的に記載すること）	_____	

\* 4. に該当する場合、その用紙に "superseded" と記入されることがある。

第V欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての法第12条（PCT35条(2)）に定める見解、それを裏付ける文献及び説明

## 1. 見解

新規性 (N)	請求の範囲	_____	有
	請求の範囲	1 - 2	無
進歩性 (I S)	請求の範囲	_____	有
	請求の範囲	1 - 2	無
産業上の利用可能性 (I A)	請求の範囲	1 - 2	有
	請求の範囲	_____	無

## 2. 文献及び説明 (PCT規則70.7)

文献1：日本国実用新案登録出願60-158493号（日本国実用新案登録出願公開62-66032号）の願書に添付した明細書及び図面の内容を撮影したマイクロフィルム（株式会社大金製作所）1987.04.24, 第1頁第4行-第2頁第3行, 第6頁第12行-第8頁第19行, 第1-2図（ファミリーなし）

文献2：JP 56-94030 A（ダイムラー・ベンツ・アクチエンケ・ゼルシャフト）1981.07.30, 第2頁左下欄第6-8行, 第3頁左上欄第13-右上欄第1行, 第1図 & DE 2950349 A1 & FR 2472113 A1 & GB 2065802 A & US 4396100 A

文献3：JP 2-203029 A（ボルグ・ワーナー オートモーティヴ ケーブルヘーハー）1990.08.13, 第2頁右上欄第1-5行, 第4頁左下欄第19行-右上欄第10行, 第1図 & EP 372118 A1 & US 4967893 A

文献4：JP 8-166025 A（株式会社ダイナックス）1996.06.25, 第1欄第39-49行, 第3欄第46行-第4欄第15行, 図5（ファミリーなし）

請求の範囲1に係る発明は、国際調査報告で引用された文献1-4に記載されているので、新規性、進歩性を有しない。文献2-4に記載された発明も、その構成からみて、本請求項に係る発明と同様な効果を奏すると認められる。

請求の範囲2に係る発明は、文献2及び3に記載されているので、新規性、進歩性を有しない。

## 第VI欄 ある種の引用文献

## 1. ある種の公表された文書 (PCT規則70.10)

出願番号 特許番号	公知日 (日.月.年)	出願日 (日.月.年)	優先日 (有効な優先権の主張) (日.月.年)
JP 2004-76896 A 「E, X」	11.03.2004	21.08.2002	

## 2. 書面による開示以外の開示 (PCT規則70.9)

書面による開示以外の開示の種類	書面による開示以外の開示の日付 (日.月.年)	書面による開示以外の開示に言及している 書面の日付 (日.月.年)